

平成 29 年度 事業報告書

事業の概要

平成 29 年度（以下「今年度」という。）においては、一般法人法等の関連法案及び定款に遵守した会の運営に務めるとともに、定款に定めた目的及び事業を達成するため、当該年度事業計画の活動指針に沿って、教育・学術・文化の振興のための各種事業を滞りなく実施した。

また、6 月開催の定時社員総会において、任期満了に伴う理事を改選し、新理事を選任するとともに、社員総会終了後開催の新理事による理事会において、会長、副会長、専務理事及び常務理事を互選し、新しい執行体制を構築した。

計画していた各種事業について、平成 10 年の授賞制度改正以降、20 回目を迎えた平成 29 年度アカデミア賞表彰事業は、会員から推薦のあった候補者について、選考委員会において慎重に選考を重ね、理事会の議を経て、社会部門から 2 名、国際部門から 1 名の受賞者を決定した。授賞式は、多くの会員の協賛のもとに盛大にかつ好評裡に催された。この詳細については、本会 HP 及び会誌アカデミア№165 2018.2 に掲載されている。

第 6 回となる「平成 29 年度アカデミア教育研究助成事業」は、会員のほか各都道府県及び政令指定都市の各教育委員会、並びに関係教育機関へ応募要項を送付するとともに、本会 HP に掲載するなど広く周知を図った結果、グループ研究 1 件の応募が得られた。応募のあった教育研究について選考委員会において選考を重ね、理事会の議を経て、応募のグループ研究に対し助成を決定した。贈呈はアカデミア賞授賞式に合わせ執り行われた。この詳細は、本会 HP 及び会誌アカデミア№165 2018.2 に掲載されている。

講演会等の開催については、恒例のアカデミア賞受賞者による記念講演及び沖縄支部主催の地区講演会等の他、11 月に大阪シンポジウム「“水の都” 大阪の海と漁業の未来を考える」を開催した。シンポジウムでは数多くの参加者を得て、活発な討論が取り交わされ、盛会かつ好評裡に終了した。この詳細については、本会 HP 及び会誌アカデミア№164 2017.12 に掲載されている。

本会事業のうち最も重要な役割を果たしているといっても過言ではない会誌アカデミアは、前年に引き続き環境に関連する内容に取り組み、さらなる充実を図るとともに、多くの関係者の協力を得て滞りなく 5 回刊行し、会員各位及び関係機関等に配付した。

主な事業

1. 教育・学術・文化の振興のための顕彰及び助成

1) 文化・社会及び国際交流に著しく貢献した人材に対するアカデミア賞の授与

平成 30 年 2 月 9 日（土）京都・新都ホテルにおいて、平成 29 年度アカデミア賞授賞

式が挙行され、次の各氏に対しアカデミア賞が授与された。

【社会部門】

森 清範氏：北法相宗大本山清水寺貫主、北法相宗管長

受賞理由：伝統的な観音信仰布教による日本精神文化の復興、および卓抜な書芸による漢字文化の普及と国際交流に貢献

【社会部門】

畠山 重篤氏：NPO 法人「森は海の恋人」理事長、漁師

京都大学フィールド科学教育センター社会連携教授

受賞理由：自らが提唱・実践した国民的な環境運動「森は海の恋人」を通じ、世界の環境活動並びに環境教育に貢献

【国際部門】

田中 裕也氏：ガウディ研究者、建築家、ORIOCC.S.L 代表、

受賞理由：ガウディ研究の世界的な第一人者として、長年に亘るガウディの建築物の実測と図面作成を通じ、謎に満ちたガウディ建築に込められたデザイン・構造・神話、さらに地域性やアイデンティティの解明に貢献

2) 我国の初等・中等及び高等教育の振興のためのアカデミア教育研究助成の贈呈

教育の振興を促進するため、わが国の初等・中等及び高等教育の現場において、日々、教育改善を実践している教員等を支援する「平成 29 年度アカデミア教育研究助成」は、以下のグループ研究に対し、20 万円を贈呈した。

グループ研究：高等学校数学教育研究会

(代表：栃木県立宇都宮女子高等学校吉川孝昭教頭 他 6 名)

研究課題：「考えさせる指導法」についての実践研究

選考理由：栃木県内の高校の数学教師有志による高等学校数学教育研究会の長年に亘る数学指導法の研究活動と実践、さらには研究成果の普及啓発は特筆に値し、初・中等における数学教育に多大に貢献したものとして、アカデミア教育研究助成を贈呈するに相応しいと認めた。

2. 教育・学術及び文化に関する講演会及びセミナー等の開催

1) 本部主催講演会等

① 2017 年大阪 シンポジウム「“水の都” 大阪の海と漁業の未来を考える」

開催日時：平成 29 年 11 月 23 日（木）13 時～17 時

開催場所：産業創造館イベントホール

I 趣旨説明：「“水の都” 大阪の海と漁業の未来を考える」

京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克

II 基調講演：「森は海の恋人から大阪湾の海と漁業の未来を見据える」

NPO 法人森は海の恋人理事長 畠山 重篤

III パネル討論

コーディネーター：大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部長 日下部 敬之

○話題提供1：大阪湾の漁業を続く世代に

大阪市漁業協同組合組合長 北村 英一郎

○話題提供2：イカナゴのくぎ煮を護る

大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部主任研究員 大美 博昭

○話題提供3：大阪湾の閉鎖性人工海面におけるマガキ養成の試み

大阪市立大学名誉教授 矢持 進

○話題提供4：大阪湾のウナギを育む森づくり

津田産業株式会社社長 津田 潮

③平成29年度アカデミア賞受賞記念講演

開催日時：平成30年2月9日（金）11時～12時30分

開催場所：新都ホテル「陽明殿」

○森 清範氏：北法相宗大本山清水寺貫主、北法相宗管長

演 題：「心のかたち」

○畠山 重篤氏：NPO 法人「森は海の恋人」理事長

演 題：「森は海の恋人 - 漁師が山に木を植える -」

○田中 裕也氏：ガウディ研究者、ORIOCC. S. L代表

演 題：「ガウディ・エッセンス」

2) 支部事業

沖縄支部 2017年度夏季講演会

開催日時：平成29年9月23日（土）

開催場所：ホテルロイヤルオリオン「旭の間」

○波平 勇夫：全国日本学士会沖縄支部長、元沖縄国際大学理事長・学長

演 題：「長期的階層分析からみた沖縄」

3. 機関誌の刊行

『会誌アカデミア』の発行

○No.161 2017.4 「障害のある人たちと歩む社会—共生社会へむけた現在（いま）」

巻頭言『「異質の光」と「知性の輝き」—「障害のある人たちと歩む社会」によせて』

奈良教育大学 教授 玉村公二彦

「米国での脱施設化運動の展開—障害者のコミュニティ居住を実現するために」

宮城教育大学名誉教授 清水 貞夫
 『「この子らを世の光に」糸賀一雄の福祉思想と障害児施設の課題』
 滋賀県立近江学園主任専門員 森本 創
 「障害者権利条約と障害者団体—JDF の活動を中心に—」
 認定 NPO 法人 DPI (障害者インターナショナル) 日本会議議長補佐 崔 栄繁
 「重い障害のある人から、生命倫理を考える」
 前「びわこ学園草津」施設長 高谷 清
 「相模原障害者殺傷事件：海外からの声と障害者権利条約」
 立命館大学生存学研究センター教授 長瀬 修
 『現代における障害・発達・文化と「野生児の教育」
 —トリュフォーの「野性の少年」を起点として—』
 奈良教育大学教授 玉村公二彦

○No.162 2017.7 「有明海再生への道」

「森里海連環による有明海の再生」
 京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克
 「有明海・諫早湾の環境復元の意義—泥干潟の豊かさを未来に残すために—」
 鹿児島大学大学院理工学研究科地球環境科学専攻教授 佐藤 正典
 「諫早湾と有明海を撮り続けて四十数年」
 肥前環境民族写真研究所代表・写真家 中尾 勘悟
 「諫早湾干拓事業の公共事業としての破綻と環境再生」
 長崎大学名誉教授・愛知大学名誉教授 宮入 興一
 「問われる司法と有明海再生」
 よみがえれ！有明訴訟弁護団弁護士 堀 良一

○No.163 2017.10 沖縄特集

「沖縄の現在と未来を語る—持続可能な社会の実現に向けて」
 「長期的階層分析からみた沖縄」
 沖縄国際大学名誉教授・元沖縄国際大学理事長 波平 勇夫
 「沖縄県の子どもの貧困対策—沖縄子どもの未来県民会議の取り組みを中心に—」
 沖縄国際大学大学院地域文化研究科准教授 比嘉 昌哉
 「居宅サービスに頼る沖縄の高齢者福祉」
 沖縄国際大学非常勤講師・那覇保護観察所保護司 末吉 重人
 「沖縄の医療事情—第7次医療計画を中心に—」
 医療法人真徳会沖縄メディカル病院理事長 大山 朝賢
 「沖縄宮古島及びその周辺離島における水利用と人の力」
 琉球大学名誉教授 渡久山 章

○No.164 2017.12 2017年大阪シンポジウム

「“水の都” 大阪の海と漁業の未来を考える」

- I 趣旨説明「“水の都” 大阪の海と漁業の未来を考える」
京都大学名誉教授・舞根森里海研究所所長 田中 克
- II 基調講演
「森は海の恋人から大阪湾の海と漁業の未来を見据える」
NPO 法人森は海の恋人理事長 畠山 重篤
- III パネル討論
コーディネーター：大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部長 日下部 敬之
話題提供1：大阪湾の漁業を続ける世代に
大阪市漁業協同組合組合長 北村 英一郎
話題提供2：イカナゴのくぎ煮を護る
大阪府立環境農林水産総合研究所水産研究部主任研究員 大美 博昭
話題提供3：大阪湾の閉鎖性人工海面におけるマガキ養成の試み
大阪市立大学名誉教授 矢持 進
話題提供4：大阪湾のウナギを育む森づくり
津田産業株式会社社長 津田 潮

○No.165 2018.2 「平成29年度アカデミア賞」

- ・平成29年度アカデミア賞受賞者業績概要
- ・アカデミア賞受賞者記念講演
- ・アカデミア賞授賞式・祝賀懇親会
- ・平成29年度アカデミア教育研究助成

4. その他の事業

「理事会・定時社員総会開催」

①第1回理事会

日時：平成29年6月1日（木）午後2時～2時30分

場所：新都ホテル「八坂の間」

- 議事：1. 平成28年度事業報告の件
2. 平成28年度収支決算の件
3. 平成28年度公益目的支出計画実施報告書の件

②定時社員総会

日時：平成29年6月16日（金）午後2時30分～3時30分

場所：新都ホテル「八坂の間」

- 議事：1. 平成28年度事業報告の件
2. 平成28年度貸借対照表の件
3. 平成28年度正味財産増減計算書の件
4. 平成28年度公益目的支出計画実施報告書の件
5. 任期満了に伴う役員（理事・監事）選任の件

- 報告： 1. 平成 29 年度事業計画の件
2. 平成 29 年度収支予算の件

③第 2 回理事会

日時：平成 29 年 6 月 16 日（金）午後 3 時 30 分～4 時

場所：新都ホテル「八坂の間」

- 議事： 1. 会長、副会長、専務理事、常務理事選任の件
2. 任期満了に伴う評議員選任の件
3. 第 6 回（2017 年度）アカデミア教育研究助成応募要項の件

④第 3 回理事会

日時：平成 29 年 11 月 21 日（月）午後 2 時～3 時

場所：新都ホテル「宇治の間」

- 議事： 1. 平成 29 年度アカデミア賞選考の件
2. 平成 29 年度アカデミア教育研究助成選考の件

⑤第 4 回理事会報告

日時：平成 30 年 3 月 23 日（金）午後 2 時～4 時

場所：新都ホテル「宇治の間」

- 議事： 1. 平成 29 年度事業報告の件
2. 平成 29 年度収支決算報告の件
3. 平成 30 年度事業計画の件
4. 平成 30 年度収支予算の件
5. 平成 30 年度定時社員総会の開催の件
6. 平成 30 年度アカデミア賞選考委員会設置の件
7. 第 4 次アカデミア教育研究助成選考委員会設置の件
8. 業務執行理事（会長・専務理事）の職務執行状況報告の件
9. 次期会長選任の件